

令和3年度西予市市政懇談会会議要録

開催日時	令和3年10月19日(火)	19:00~20:13
開催場所	高山公民館	
出席者	<p>参加者 17人</p> <p>市側 10人</p> <p>市長 管家一夫、副市長 宗正弘、教育長 松川伸二          総務部長 山住哲司、政策企画部長 下澤広幸          生活福祉部長(兼)福祉事務所著 藤井兼人、産業部長 酒井信也          建設部長 三瀬計浩、教育部長 宇都宮裕、明浜支所長 上中保博          事務局他 16人</p>	
議事内容(要旨)	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 地域づくり活動センターに関する説明</p> <p>(1) ①地域づくり活動センター推進計画(案)について(まちづくり推進課長説明)</p> <p>②公民館分館について(生涯学習課長説明)</p> <p>(2) 組織体制(案)について(総務課長説明)</p> <p>4 質疑応答</p> <p>(意見等)</p> <p>現在の公民館 27 館の予算額と令和5年に地域づくり活動センターになった場合の予算額はどのくらいになるのか。</p> <p>(回答 政策企画部長)</p> <p>現時点では額の比較ができていない。</p> <p>センター化の取り組みだけをもって大幅な財政の削減ができるとは考えていない。センター化にあたり、地域任用職員の人件費や現在拠点施設のない3地区の拠点整備、その他の拠点施設の改修費用がかかってくる見込み。全体の経費については今後調査し必要な経費を精査していく。</p> <p>(意見等)</p> <p>狩江地区が昨年からセンター化に取り組んでいる。この1年間で公民館時代との違いは何かあるか。</p> <p>(回答 まちづくり推進課地域づくり活動センター推進室係長)</p> <p>雇用された地域任用職員が地域の事務局やイベントの企画、運営に携わったことで、地域住民の負担が軽減したと聞いている。同じ事務所内で地域任用職員と行政職員が共働していることで、デリケートな情報の取り扱いに苦慮する部分もあるが、情報共有もスムーズになった。</p>	

(意見等)

センター化を進めることによって地域間格差が広がるのではないかと思っている。格差が広がらないための対策はあるか。

(回答 政策企画部長)

試験的に取り組んでいる団体の情報は共有させてもらう。地域任用職員などの確保に苦慮する団体については、公民館主事や地域づくり活動センター推進室が積極的に関わって、フォローをしていく。

(意見等)

10年前に、高山東の農道を大早津につなげる事業が立ち上がった。この道路は、農家にとっても有効で、海岸端を通らない避難道としても期待している。しかし、用地替えをしている途中で地権者の1人が行方不明であることが分かり、工事は始まっていない。今年6月にも支所にその後どうなったか聞きに行ったが、行方不明者の家族から承諾がとれないという話だった。予算には合併特例債を充てるということだったが、あと3年で合併特例債は期限が来て、事業が頓挫し、行方不明者の関係者に目がむけられることを危惧している。(所有者不明土地に係る事例を紹介) 全国では、行方不明者にかかる土地買収の良い例があるので、それを適用して事業を完了させてほしい。

(回答 明浜産業建設課長)

質問の中であったように、事業を進めるにあたり問題を抱えている。この道路は主要事業と位置付けており、現在、関係機関と協議し、解決に向けて進めているところ。早期に事業実施をしたいと考えている。

(回答 市長)

ご紹介いただいた事例の検証やこれまでの経緯についての確認を行い、早急に解決方法を検討させていただく。長い間、お待たせして申し訳ない。

5 閉会のあいさつ

副市長

6 閉会